

HOPEレポートXXIV 団塊リタイア調査②「団塊世代 今後の生活と暮らし方」

団塊男性は仕事派だけでなく、自由派が大きな存在感。

団塊世代の5割以上が「リフォーム」意向。

4割近くが「二地域居住」に興味あり。親子は「同居」から「近居」へ。

博報堂エルダービジネス推進室では、50歳以上のエルダー生活者について、常時さまざまな調査・研究を実施しております。このたび、2007年4月から始まった「団塊のリタイア」に焦点を合わせ、首都圏及び関西圏の58～60歳（428名）の調査結果を中心に「リタイア後の生活と暮らし方」について分析した結果をまとめましたので、ご報告いたします。

調査結果によれば、定年退職後の暮らし方として、「定年前と同じ会社でフルタイム勤務（28.0%）」を望む人よりも若干多い28.9%の人が「組織に縛られない自由な生活」を希望していることがわかりました。もともと自由を求める気持ちを持ち続けている団塊世代の意識がここにもみてとれます。

今後の暮らし方については、約8割の人が「今と同じところに住み続けたい」と回答していますが、リフォームとなると、1年以内の経験者も含めれば、全体の5割以上がリフォーム意向者となりました。内容的には、男女共に「キッチンの充実」を望む声が最も強く、女性は「バリアフリー化」を望み、男性は趣味関連のリフォームを希望するという男女差も見られました。退職し、自由になる生活を想定して、積極的に生活を変えようという気持ちになっているのかもしれませんが。

また「二地域居住」に興味のある人が、約4割いました。興味のある人のうち、6割以上が「都心と郊外」の生活を希望しているようです。「国内と海外を行き来する」人も約2割いました。ここでは、ほとんど男女差は見られず、「自由な生活」へのニーズは高そうです。

自分の両親や子供との居住スタイルについては、「同居」や「遠居」よりも、圧倒的に「近居」を望む声が高く、特に女性に強く傾向が表れていました。自由な時間を確保しつつも、何かあったときには駆けつけられる距離に住みたいというのが、団塊世代の希望のようです。

次ページ以降で、詳細の調査データを紹介いたします。

調査概要

調査時期：2007年3月

調査地域：東京40km圏および大阪/京都/神戸

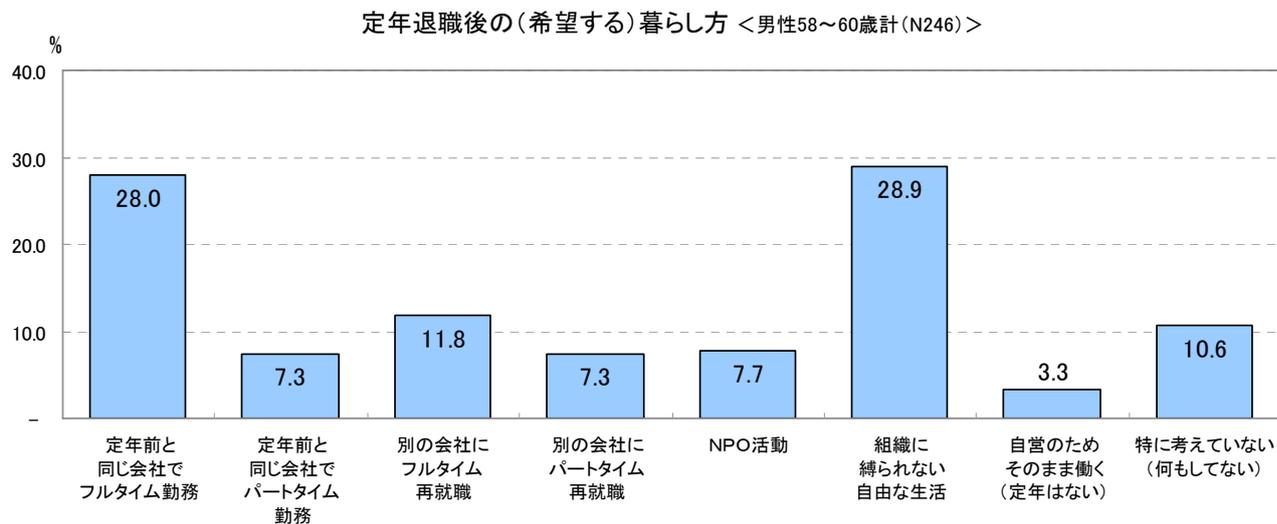
調査対象：団塊世代（57才～61才）男性298名、女性286名 計584名

調査方法：インターネット調査

添付資料：調査データ

◇ 定年退職後の暮らし方として、約3割の男性が「組織に縛られない自由な生活」を希望。

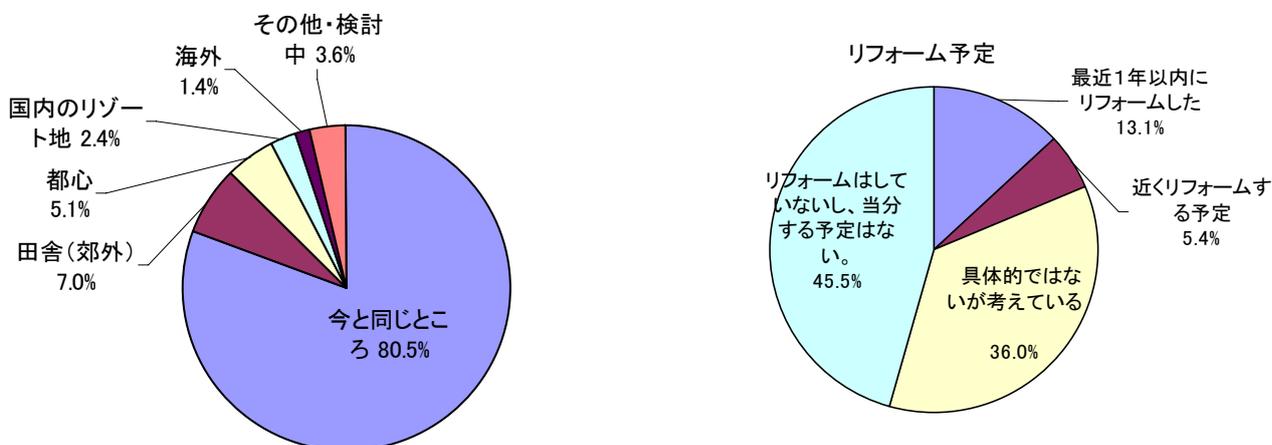
団塊世代に定年退職後の生活を尋ねたところ、「定年前と同じ会社でフルタイム勤務（28.0%）」を希望する人よりも、「組織に縛られない自由な生活（28.9%）」を望む人のほうが若干ですが多いことがわかりました。もともと自由を望む気持ちの強い世代ですが、その気持ちを持ち続けている人が約3割いるようです。



◇ 定年後、約8割は「同じところに住み続けたい」。そして、半数以上が「リフォームに興味あり」。

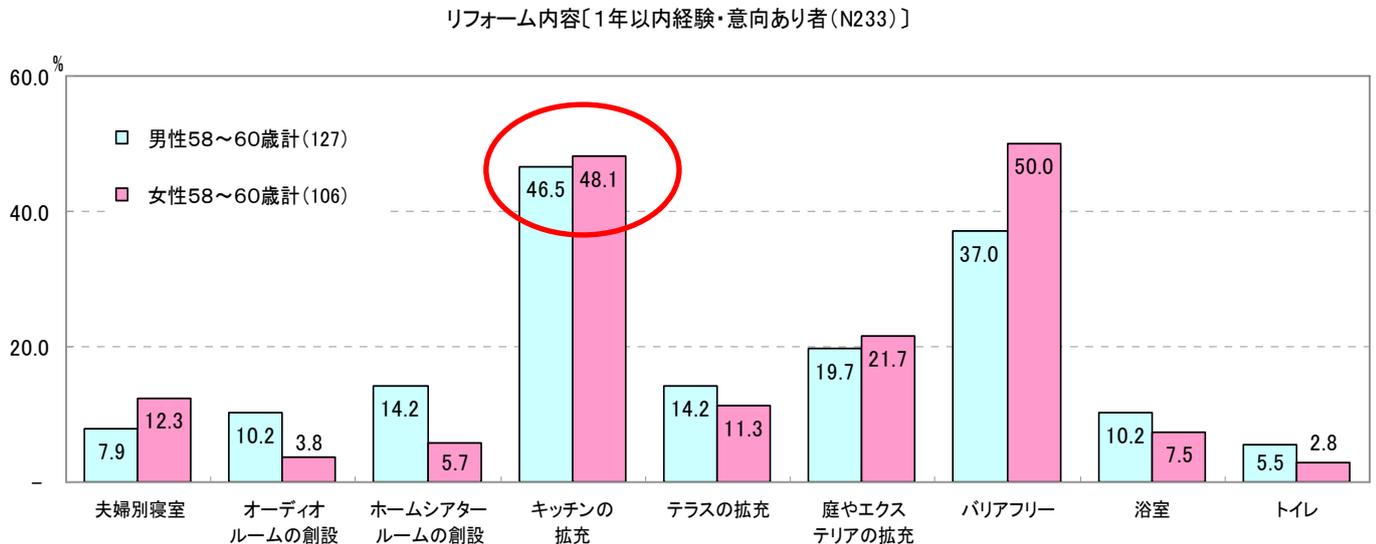
定年後の暮らし方については、約8割の人が「今と同じところに住み続けたい」と回答しています。一方でリフォームについては、1年以内の経験者も含めれば、全体の5割以上がリフォーム意向者と言えそうです。退職し、自由になる生活を想定して、積極的に生活を変えようという気持ちになっているのかもしれませんが。

今後の居住希望地



◇ 「リフォーム」においては男女共に5割近くが「キッチンの拡充」を希望。

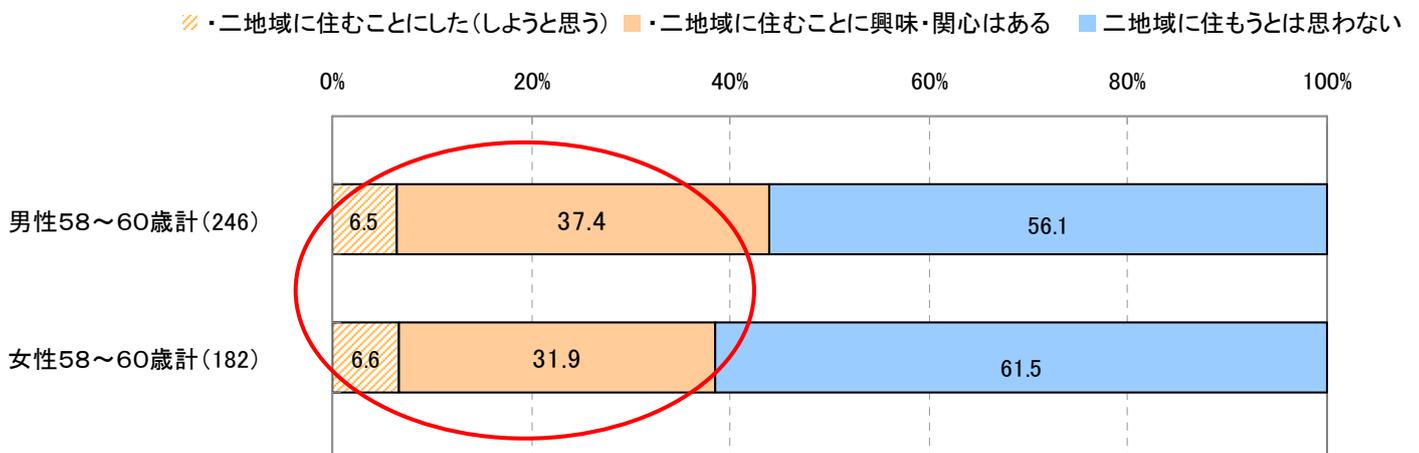
リフォームを1年以内に経験した人と今後リフォーム意向のある人に、その内容を聞いたところ、男女ともに「キッチンの拡充」が5割近くに達していました。これからは、自ら料理を作る男性が増えてきそうです。男女別に見ると、「ホームシアターの創設」「オーディオルームの創設」といった趣味系は男性が高く、女性は「バリアフリー」(50.0%)を希望する人が多くいました。



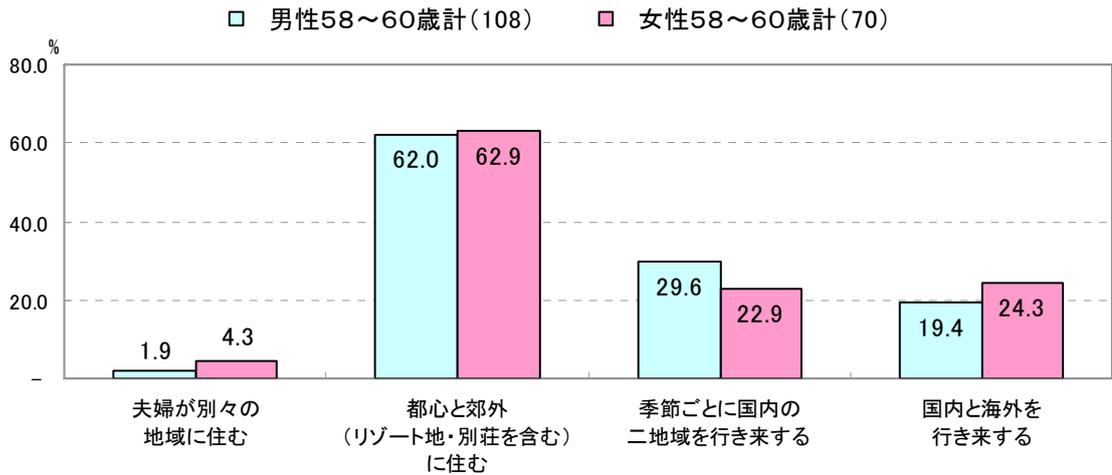
◇ 団塊世代の半数近くが「二地域居住」に関心あり。

定年後の暮らし方として、約4割が「二地域居住」に興味をもっていることがわかりました。興味を持っている人のうち6割以上が、「都心」と、リゾート地や別荘などを含む「郊外」の二地域に住みたいと回答しています。「国内と海外を行き来したい」希望者も約2割います。

二地域居住意向(N428)



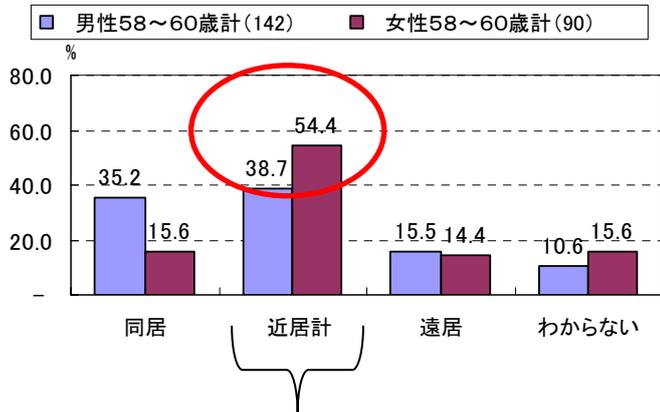
二地域居住の希望する形態(N178)



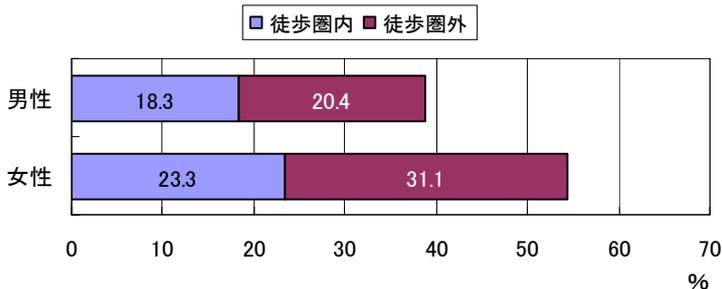
◇ 親子関係は、「同居」から「近居」へ。

自分の両親や子供との居住関係については、「同居」や「遠居」よりも、圧倒的に「近居」を望む声が強いことがわかりました。この傾向はとくに女性に強くなっています。また、男女ともに、子供とは「近居」したいと願っているようです。また、親に対してよりも、子供に対しての近居希望が高くなっています。近居の内訳では、子供とは「徒歩圏外での近居」を強く希望しています。ある程度の距離を保つことで、お互い自由に、かつ困ったときは助け合える関係が理想のようです。

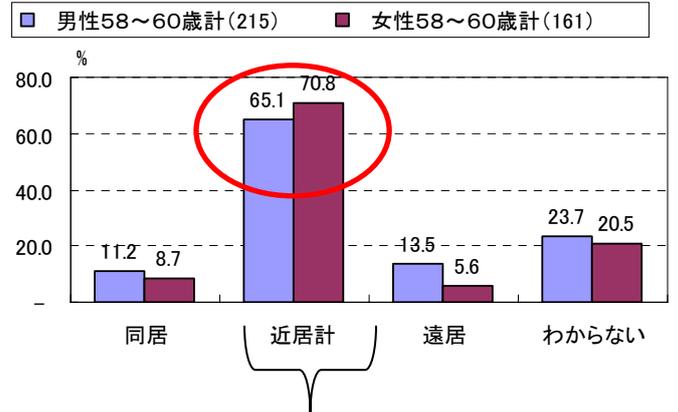
親との希望する住居スタイル(親あり者)



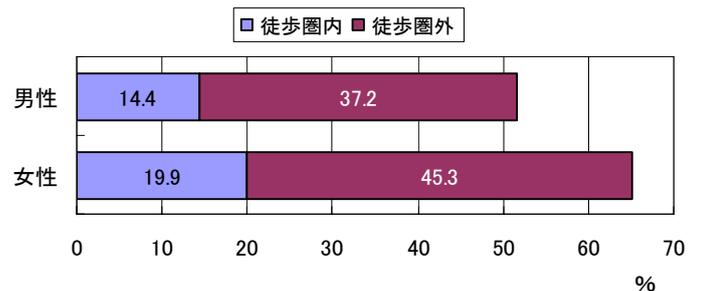
親と近居の内訳



子との希望する住居スタイル(子どもあり者)



子供との近居内訳



<調査分析の視点>

博報堂エルダービジネス推進室では、団塊の世代が1960年代後半に若者文化を創ったときを「団塊のファーストウェーブ」と呼んでいます。このときに、初めて世の中に登場したのが、「男の長髪」「ミニスカート」「ジーンズ」です。また、1980年前後にニューファミリー・スニーカーモデルと呼ばれて消費をリードしたときを「団塊のセカンドウェーブ」としています。このときに、初めて世の中に登場したのが「ワゴン車」です。この2007年からはじまる団塊世代の大量退職で、「団塊のサードウェーブ」が起こる可能性があります。それは、これまで2回の波がいずれも「私生活」に関することによる社会現象であり、リタイアは基本的には「私生活中心」の生活に入るからです。（詳細は「団塊サードウェーブ」2006年弘文堂刊）

彼らは、これまでの2回の波の際、いま述べたような世の中にそれまでになかった新しい現象を起こし、次の時代の新しい文化・消費を生み出してきました。今回の団塊リタイアに際しても、次の時代の流れになるような「新しい社会現象」が起こる可能性があります。調査からは、これまでの一般的なリタイア後の高齢者イメージとは異なる意識やライフスタイルが見えてきました。そこから、新たな「社会現象」になるような兆候をできるだけ取上げてみました。こうした分析から「団塊サードウェーブ」が起こる兆が多少見えてきたような気がします。本当に彼らが大きな流れになるかどうか、われわれも今後注目して行きたいと思います。

ご参考

■エルダーの規定（博報堂エルダービジネス推進室による）

50歳以上の高齢者を「エルダー」と規定	
導入期	50～64歳
本格期（高齢者）	65歳以上
前期高齢者	65～74歳
後期高齢者	75歳以上

■これまで発行したHOPEレポート

1. HOPE レポートⅠ ニューエルダーの登場 (2001年5月・既報)
・ニューエルダーの登場 エルダー世代関係づくりのキーワードは「情報縁」
2. HOPE レポートⅡ 情報縁：つながる場 (2001年7月・既報)
・ユニバーサルデザイン
3. HOPE レポートⅢ 情報縁：つながる関係 (2001年8月・既報)
・エルダーの人間関係
4. HOPE レポートⅣ 情報縁：3世代コミュニケーション (2001年9月・既報)
エルダーの「子供」「孫」とのコミュニケーション
5. HOPE レポートⅤ 「エルダー層のお金に対する意識調査」 (2001年11月・既報)
6. HOPE レポートⅥ つながるメディア「ラジオとエルダー」 (2001年11月・既報)
7. HOPE レポートⅦ 「エルダーと旅」 (2002年3月・既報)
8. HOPE レポートⅧ 「50代調査速報」 (2002年7月・既報)
9. HOPE レポートⅨ 「HOPE サーベイ速報：エルダーとパソコン・携帯電話」 (2002年10月・既報)
10. HOPE レポートⅩ 「50代60代1600名のお金に関する意識データ」 (2003年3月・既報)
11. HOPE レポート増刊『『新しい大人文化』創造のヒント『開け ひま』』 (2003年10月・既報)
12. HOPE レポートⅩⅠ 「50代夫婦のパートナー評価」 (2003年12月・既報)
13. HOPE レポートⅩⅡ 「エルダーの食生活調査」 (2004年2月・既報)
14. HOPE レポートⅩⅢ 「エルダーと健康調査」 (2004年4月・既報)
15. HOPE レポートⅩⅣ 「3世代（ジェネレーション）クロス調査」 (2004年7月・既報)
16. HOPE レポートⅩⅤ 「団塊夫婦の定年意識に関する調査」 (2004年9月・既報)
17. HOPE レポートⅩⅥ 「団塊世代のエンタテインメント実態調査」 (2005年4月・既報)
18. HOPE レポートⅩⅦ 「団塊世代のファッション実態調査」 (2005年7月・既報)
19. HOPE レポートⅩⅧ 「エルダーの情報縁とタッチポイント」 (2005年9月・既報)
20. HOPE レポートⅩⅨ 「団塊世代～定年（引退）後のライフスタイル調査」 (2005年10月・既報)
21. HOPE レポートⅩⅩ 「団塊男性～定年後に目指す男のロマン実態調査」 (2006年5月・既報)
22. HOPE レポートⅩⅩⅠ 「HOPE サーベイ 団塊世代 人生60年の棚卸し」 (2006年12月・既報)
23. HOPE レポートⅩⅩⅡ 「団塊世代 60歳以降の人生設計」 (2007年2月・既報)
24. HOPE レポートⅩⅩⅢ 「団塊リタイア調査①退職金の使い方」 (2007年4月・既報)
25. HOPE レポートⅩⅩⅣ 「団塊リタイア調査②今後の生活と暮らし方」 (今回)

* このニュースリリースは高齢者も読みやすい11ポイント以上の文字を使用しています。

(11ポイントは、これ以上小さくなると読みにくくなる限度です)